



♪ 第20回定期演奏会、盛況のうちに閉幕 ♪

秋も深まり、恒例の定期演奏会が11月2日(日)・3日(月)に小諸文化会館、ホクト文化ホールにて開催されました。第20回を迎えた本年も、日頃の練習の成果を存分に発揮し、全員が一体となって素晴らしい演奏・歌声を会場中に響かせました。今号では、出演生徒より寄せて頂いた感想文、9名分をご紹介します。

♪ 定期演奏会 ♪

音楽科の最大行事である定期演奏会が行われました。入学してメサイアのあの厚い楽譜をもらったとき、定期演奏会までにこれを歌えるようになるのかと、とても不安でした。

でも、本番にはしっかりと歌えるようになっていました。憧れであった小諸高校のメサイア、今年一緒に同じ舞台に立つことができるととても嬉しかったです。

管楽での演奏も、普段一人で吹いている私にとって、とてもいい刺激になりました。みんなと一緒に音楽を奏でるということは、ほんとうに素晴らしいことだと思いました。

今回の定期演奏会は、初めてということもありわからないことだらけでした。先輩方に迷惑をかけてしまった部分もあると思います。来年度は一度定演を経験した者として、今回の反省をいかして、自分から行動を起こしていけるようにしたいです。

♪ 定期演奏会を終えて ♪

私たち一年生にとって初めての定期演奏会が終わりました。私は弦楽で出演しましたがすべてが難曲で、少しあきらめている部分がありました。しかし、合宿などで練習していく中で、「出来ないかもしれないけど、出来ないなりに頑張ろう」と思い始めました。大変でした。しかし、この大変さを乗り越えることで、自分にとって大きな財産となりました。当日は、アクシデントも多々ありました。しかし、最後まで演奏し切ることができました。そして、初めてでしたが、自分が何をすべきかを考えながら行動できました。

来年は、先輩として・後輩としてという立場で定期演奏会を迎えます。今年学んだことを活かし、これから一年の集大成になる定期演奏会に向けて頑張ります。そして、支えて下さった多くの方に感謝したいと思います。

♪ 定期演奏会を終えて ♪

今年、初めて定期演奏会のステージに立ってみて、こんなに感動したステージは初めてだと思いました。

合唱部では、三年生の先輩方との最後のステージでした。練習する時間も少なく、ギリギリになってしまいましたが、良い演奏ができたと思っています。泣いている先輩方の姿を見て、自分達が三年生になった時に涙を流せるといいなと思いました。

メサイアでは、初めに練習した時は「こんなに大変なんだ…」と思っていました。でも、パート練習をしていくうちに楽しくなってきました。本番では、アーメンを歌い終わってからお客さんからの拍手を聞いて、涙が出そうになりました。こんなに達成感を味わえた演奏会は初めてでした。

来年もまた、感動する演奏会になるよう、頑張りたいです。

♪ 定期演奏会を終えて ♪

先日、私は二年目となる定期演奏会を終えました。振り返ってみると、本番までの日々は怒濤の勢いだったような気がします。合唱は今年も難易度が高い曲集だった上に、私達二年生は修学旅行から帰ってきてすぐリハーサルという多忙な日程だったので、正直良い演奏ができるかどうかはあまり自信がありませんでした。しかし音楽人とは時に難題を平然と飛び越えてしまうもので、私達は堂々と歌い終えました。管楽も、管弦楽も、メサイアも、あの盛大な拍手を思い起こせば、自分達の演奏がどのようなものであったのかが分かります。舞台裏で管や弦の音を聴いた時、ふと私は、一年って早いなあと思いました。昨年のまだ未熟で、緊張だらけだった自分が少し懐かしく感じます。来年は、どんな演奏ができるのでしょうか。そして最後に、三年生の皆さん、本当にありがとうございました。

♪ 定期演奏会を終えて ♪

2年生となって、2回目の定期演奏会に出るの感想は、1年生の時は初めての定演にただなれなく、先輩達の指示をただまっていたりして自分の満足する演奏ができなかったりしたのですが今年はペースが分かっていたので、後輩に指示を出したり、演奏の事を考える余裕ができたので、よかったです。オーケストラやメサイアといった事はこれからの人生であと何回できるかできないかくらいの貴重な体験だと思うので、大切な思い出にしたいです。定期演奏会が終わった後も、ただ終わったというだけでなく、定演から見えてきた課題をしっかりと見つめて自分の演奏に活かしたいです。

来年は最後の定期演奏会になるので、悔いの残らない練習、準備をして、本番演奏を楽しみたいです。

♪ 定期演奏会 感想文 ♪

今年の定期演奏会は、私はセッティングの長を担当しました。二年生が指示を出さなければならないということを知り、とても緊張しましたが合唱の仲間がみんな協力してくれたので、突然の変更などにもすぐに対応することができ、良いステージ作りをすることができて良かったです。

自分の合唱のステージは、修学旅行などの行事があったためしっかり歌えるかとても不安でしたが短い期間で曲を作ることがしっかりできて安心して歌うことができました。合唱部は九月に大会があり定期演奏会が最後のステージなのだと思っていてやってきたので、今の仲間と満足のいく演奏ができたことを嬉しく思います。昨年からお世話になってきた先輩方にステージの上で共に歌うことで感謝の気持ちを伝えようと精一杯やり切ることができて良かったです。来年の定期演奏会が今から楽しみです。

♪ 定期演奏会を終えて ♪

今回、私にとって最後の定期演奏会になりました。三年間続けてきた合唱も、今のメンバーで歌う最後のステージになりました。今年は小諸高校音楽科が 20 周年記念ということもあり、絶対に成功させたいという気持ちが強くありました。合唱は今までコンクールでやってきた曲にさらに 3 曲増え、正直間に合うか心配でした。暗譜も音程や出るタイミングを覚えるのに時間がかかってしまい、強弱を覚えるのがギリギリになってしまいました。高木先生に前日練習の時、「3 年生最後なのにこのままでいいのか。」と言われて、何とかしなきゃと思いました。メサイアもアルトのソロが加わり、歌う曲も新しく 2 曲増えました。練習時間が短くて大変でしたが、本番は上手くいったので良かったです。ハレルヤを歌っている時から感動して涙目になってしまいました。こんなにすばらしい経験が出来て良かったです。

♪ 定期演奏会を終えて ♪

今年は三年生であり、コンサートマスターという重大な役をした定期演奏会でした。人生初のコンサートマスターでとても大変でした。ですが、曲が楽しかったです。ベートーヴェンとチャイコフスキーでした。両方とてもテンションが上がる曲でやりがいがある曲でした。ベートーヴェンは、毎日 CD で聴いていて、こんな風にやれたらいいなと思っていました。チャイコフスキーは、NHK 交響楽団が TV でやっていて素晴らしく、感動しました。こんな風にできたらと思っていました。しかし両方とも難しく、悩まされました。個人練習でできても合奏でできなくなることがあり、大変でした。しかし、本番の日がきて、焦りました。まだ未完であり、どうしようか悩みましたが、やるしかないなと思いました。人生で最初で最後の大役をしっかり果たそうと思いました。この二日間、この気持ちで向かったら、とても楽しくできて良かったです。思い出になる演奏会で良かったです。

♪ 定期演奏会を終えて ♪

最後の定期演奏会が行われました。私にとってこの定期演奏会は三年間の集大成でもあり、とても記憶に残る演奏会でした。私はこの演奏会で仲間と音楽を作るすばらしさを学んだと思います。

定期演奏会の練習は夏の合宿頃から始まりました。ベートーヴェン交響曲第7番はパート内で音をそろえるのは難しいし、チャイコフスキーは速度が早くて、弓がついていけない状態でした。講師の寺島先生は弓の真ん中で弾くなどたくさんのアドバイスをしてくださいました。またチェロを練習する事はピアノにもつながると教えてくださいました。本番は緊張よりもこれでチェロを弾く機会がないかもしれないという気持ちが勝っていました。賛助の先生方にも協力していただいて、ホール中に響いた音は忘れられないほど感動しました。このような演奏はピアノみたいに一人で演奏するのではなく、仲間と音楽を作る事でピアノとは違った音楽のすばらしさを知る事ができました。高校時代のいい思い出になってよかったです。

♪ 第20回定期演奏会 プログラム ♪

- ♪横山 潤子 共演者
♪鈴木 輝昭 女声合唱とピアノのための組曲『女に』より
こぶし、なめる（第1集）
ともに、ここ（第2集）
- ♪寺嶋 陸也 女声合唱とピアノのための組曲『女の象』より
めぐってくる五月には
- ♪P.A. グレインジャー リンカンシャーの花束
♪L.v. ベートーヴェン 交響曲第7番より 第1楽章
♪P.I. チャイコフスキー 交響曲第5番より 第4楽章
♪G.F. ヘンデル オラトリオ『メサイア』より
- ♪『鷗』(アンコール)

長野県小諸高等学校音楽科
第20回 定期演奏会

小諸公演 13:00 開場 平成26年 13:30 開演	長野公演 13:00 開場 平成26年 13:30 開演
---------------------------------	---------------------------------

11月2日(日) 小諸市文化会館
11月3日(月・祝) ホクト文化ホール 大ホール

～プログラム～

鈴木 輝明 / 女声合唱とピアノのための組曲『女に』より こぶし、なめる (第1集) ともに、ここ (第2集)	〈ソリスト〉 竹内 直美 (ソプラノ) 穴澤 ゆう子 (アルト) 岡本 泰寛 (テノール) 田島 達也 (バス)
---	--

寺嶋 陸也 / めぐってくる五月には
横山 潤子 / 共演者
P. グレインジャー / リンカンシャーの花束
L.v. ベートーヴェン / 交響曲第7番より第1楽章
P.I. チャイコフスキー / 交響曲第5番より第4楽章
G.F. ヘンデル / オラトリオ『メサイア』より

入場無料



主催 長野県小諸高等学校
後援 長野県・長野県教育委員会・小諸市・小諸市教育委員会・小諸高等学校同窓会・小諸高等学校PTA
お問い合わせ 小諸高校音楽科 TEL.0267-22-1696